

情報公開文書

研究課題名	骨髄非破壊的前処置での臍帯血移植における GVHD 予防としてタクロリムス・ミコフェノール酸モフェチル併用とタクロリムス単独使用の後方視的検討
研究体制	<input checked="" type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関:)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>宍戸 努</u> 当 院 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>宍戸 努</u>
研究期間	(西暦) 2017 年 10 月 ~ 2020 年 10 月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>ミコフェノール酸モフェチルは近年開発され、最近では GVHD 予防に幅広く使用されている免疫抑制剤です。当院では 2006 年より骨髄非破壊的前処置による臍帯血移植の GVHD 予防にミコフェノール酸モフェチルの使用を開始し、2016 年 3 月までに 47 症例に使用してきました。しかしミコフェノール酸モフェチル使用における移植成績はデータに乏しく明らかになっていない部分が多いです。そこで本邦におけるミコフェノール酸モフェチル使用症例の臨床的特徴を明らかにするために今回の研究を行います。</p> <p>(研究方法)</p> <p>2006 年 4 月～2016 年 3 月に当院血液内科で実施された臍帯血移植直のうち、疾患が急性骨髄性白血病または骨髄異形成症候群であった 40 名を対象とします。カルテ上の既に診療で得られた調査項目内容を抽出し検討します。新たな研究材料は用いず、また既存の情報をを用いた後方視的な研究のため被験者に起こり得る危険はありません。</p>
試料・情報	<p>(試料・情報の項目)</p> <p>年齢、性別、疾患、移植前処置、GVHD 予防方法、合併症、移植後の経過、前治療内容、臨床症状、血液検査データ (血算、生化学)、MRI・CT・血管造影等の画像検査データ</p>
研究対象者	<p>2006 年 4 月～2016 年 3 月に当院血液内科で実施された臍帯血移植直のうち、疾患が急性骨髄性白血病または骨髄異形成症候群であった 40 名</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>
個人情報の保護	<p>収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。</p>

お問い合わせ先

〒380-8582

長野県長野市若里五丁目22番1号

長野赤十字病院

所属 血液内科 氏名 宍戸 努

TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439